

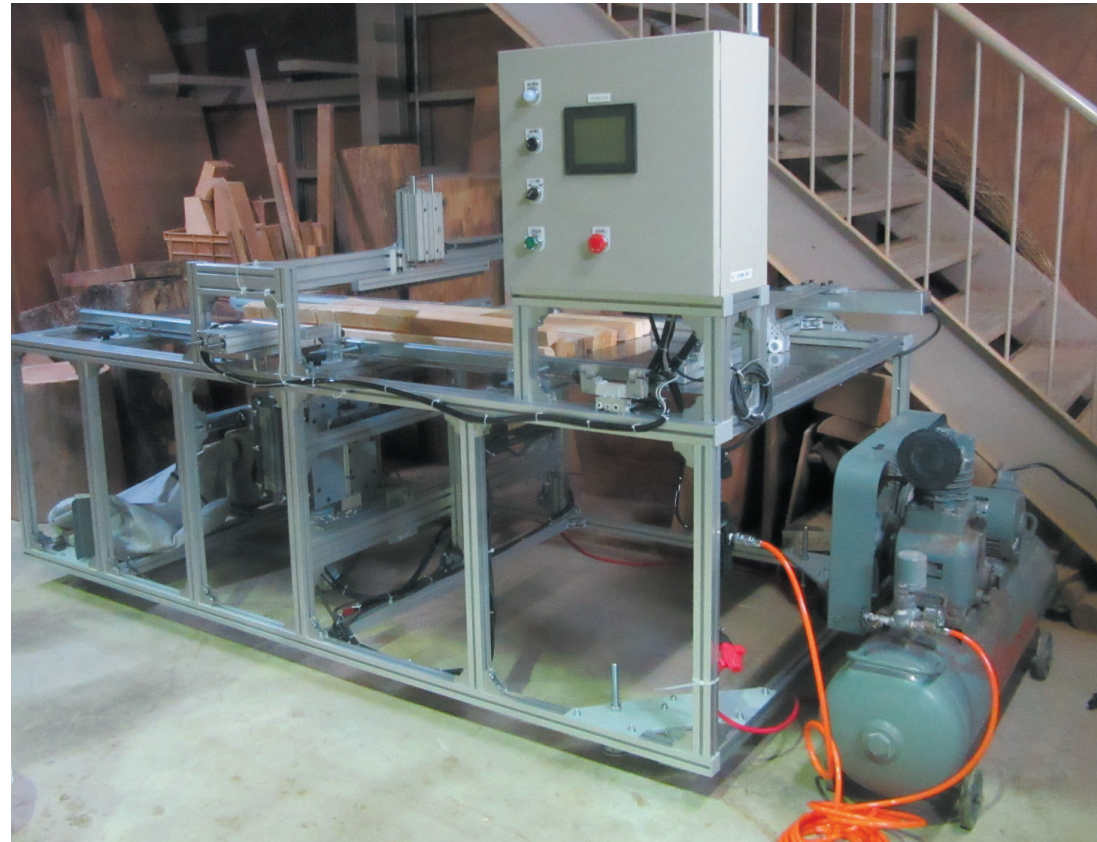
- 危険を伴う手作業を機械化し、大量生産を実現
- オーダーメイドの授与品により、社寺と人との交流を活性化
- 伝統工芸「井波彫刻」のさらなる発展のための新サービス事業を確立



一つとして同じものはない「木玉（こだま）」

南部白雲木彫刻工房

製造業（木製品）

平成28年度 革新的サービス 設備投資
H28 小規模型物語性を持たせた木製の社寺授与品を提案
安定した生産体制の確立を実現

補助金で導入した木材を切断し荒削りに仕上げる機械

会社の概要

当工房は明治31年より3代にわたり、国指定伝統工芸「井波彫刻」を生業としてきた。江戸中期より歴史を持つ井波彫刻の世界も時代の移り変わりとともに変化し、当工房でも初代・2代目・3代目と各々が自らの個性を生かし工房のかたちを作っている。社寺仏閣の装飾彫刻や祭礼彫刻、住宅欄間、天神様などの制作に始まり、その技術を生かした木製看板もまた新たな井波彫刻の伝統として現代のニーズに受け入れられるよう力を注いでいる。初代より

一貫して変わらない事は、依頼主の想いや物語性を軸としたオーダーメイド。そして100年200年と大切にされ残していけるもの、喜んでいただけるものを作る事。その想いで伝統を育んでいる。平成21年には、彫刻の端材で木工品を作る姉妹工房「よしみ工房」を立ち上げ、現在、全国の社寺を中心に木製のオリジナル授与品の企画・制作を行っている。

補助金事業の内容

よしみ工房では、楕円形の木の玉に彩色した干支の置物を皮切りに、「木玉」と名付けたさまざまな大き

さの木の玉で安産守りやおみくじ、記念品などを制作してきた。この木玉を中心とした社寺授与品をさらに広く提案していくにあたって、量産できる体制を作り上げることは必須条件であった。

木玉は真円ではなく楕円形の玉で、一つひとつ大きさが微妙に異なり、石ころのような温かみがある。木材で真円を作るのは大量生産も容易だが、このような形状を一度に大量に生み出す機械はなかった。元は、3代目・白雲がかつて新たな土産品開発の際にこの木の玉を思いつき、洗濯機を改造するなどして自ら機械を試作し、試行錯誤したのが始まりとなっている。数十年の時を経て、機械メーカーにオーダーメイドの研磨機を製作依頼。一度にたくさんの滑らかな手触りの木玉を作り上げることに成功した。

しかし、研磨の前段階の作業では、職人が小さな木片を一つずつ丸ノコを使って角をとり、ランダムに削っていく必要があった。特に小さいサイズの木玉を削るのは危険を伴う作業となることから、さらなる量産は困難であった。この作業を機械化すべく、今回の補助金では、木材をたくさんの小さな木片に切断し、角をランダムに落として荒削りの状態にまで仕上げる新たなオーダーメイドの機械を導入した。これまで職人



師弟制度により伝統の井波彫刻を制作する工房

会社データ

設立 明治31年

代表 南部 秀三（現3代目白雲）

所在地 南砺市井波2174

TEL/FAX TEL:0763-82-0916 FAX:0763-82-0916

E-mail info@nanbuhakuun.com

URL http://nanbuhakuun.com

従業員数 3人

取扱製品 社寺彫刻、神仏具、祭礼彫刻、一般彫刻、修復、木製看板、社寺授与品

が一つずつ削っていた危険な作業が、サイズを入力し木材をセットするだけになり、安全かつ時間と手間的大幅な軽減を実現させた。

補助金事業の成果

神社や寺にまつわる物語性を込めた木製の授与品というのはこれまでに例がなく、新たな試みとして受け入れてもらえた。例えば、当工房の地域にある「高瀬神社」には、さまざまなさぎの絵を刻印した木玉をおみくじとして提案した。うさぎは、神社の主祭神である大国主命に仕えた動物で、「月にうさぎ」、「白うさぎ」など、それぞれの絵には選んだ人を導くメッセージが隠されている。また、木玉は城端の「しけ絹」で作られたオリジナルの巾着袋に納めてお守りとして持ち歩けるようにした。お参りする人々と神社側がこうしたいわれを話すことで思いがけない交流も生み出しているという。

また、ある県外の神社では、安産お守りとして頂いた木玉を子どもが生まれた後に返しに来ると、男の子または女の子の焼印が押された木玉と交換できるという取り組みも行われ、「お礼参り」の習慣を根付かせることにもつながっている。

今後の展望

今後は、工房に機械を中心とした生産環境を整え、量産体制のシステムを確立し、木玉を中心とした木製の社寺授与品をますます多方面へと提案していきたい。もともと社寺彫刻を通じてつながりの深かった神社や寺からの求めに応じた発注が生まれていた。さらに授与品という小規模な取引がきっかけとなって新規の社寺からの彫刻の制作や修復の発注にもつながり、伝統の井波彫刻を手がける工房にも良い作用を生み出すと思われる。



高瀬神社の「大国さまのおさとし うさぎみくじ」



しけ絹の巾着に入れてお守りとして持ち歩くこともできる



陣痛を和らげるグッズとしても人気の「安産お守り」